

2022年11月11日

各位

会社名
代表者名

東京計器株式会社
代表取締役 社長執行役員
安藤 毅

問合せ責任者

(コード番号 7721 東証プライム)
取締役 執行役員
コーポレート・コミュニケーション担当
上野山 素雄
(TEL 03-3732-2111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2023年3月期 連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 45,400	百万円 1,850	百万円 2,100	百万円 1,550	円 銭 94.49
今回修正予想（B）	44,700	1,040	1,410	960	58.48
増減額（B－A）	△700	△810	△690	△590	－
増減率（％）	△1.5	△43.8	△32.9	△38.1	－
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	41,510	1,635	1,926	1,493	91.06

2. 修正の理由

2023年3月期の連結業績予想につきましては、5月13日に公表しました業績予想に対し、売上高については、船舶港湾機器事業での円安効果や、案件の谷間から回復した防衛・通信機器事業、及び機器販売が増えている鉄道機器事業における売上高増加が見込まれ、受注残高も高水準となっております。一方、部品の供給不足による来期以降への案件の繰り越しが多いことや、油空圧機器事業の中国市場における産業機械の需要停滞の継続が見込まれることから、前回発表予想をやや下回る見込みとなりました。

利益については、売上高の減少、想定以上の原油、原材料、及び半導体等の価格高騰の影響を大きく受け、各事業で売価の適正化に取り組んでいるものの、効果を得るのに時間を要することや、高付加価値案件の繰り越し等から、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、2023年3月期の配当につきましては、期初の予定を維持しまして、1株当たり普通配当5円を増配し、年間30円を実施する予定です。

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上